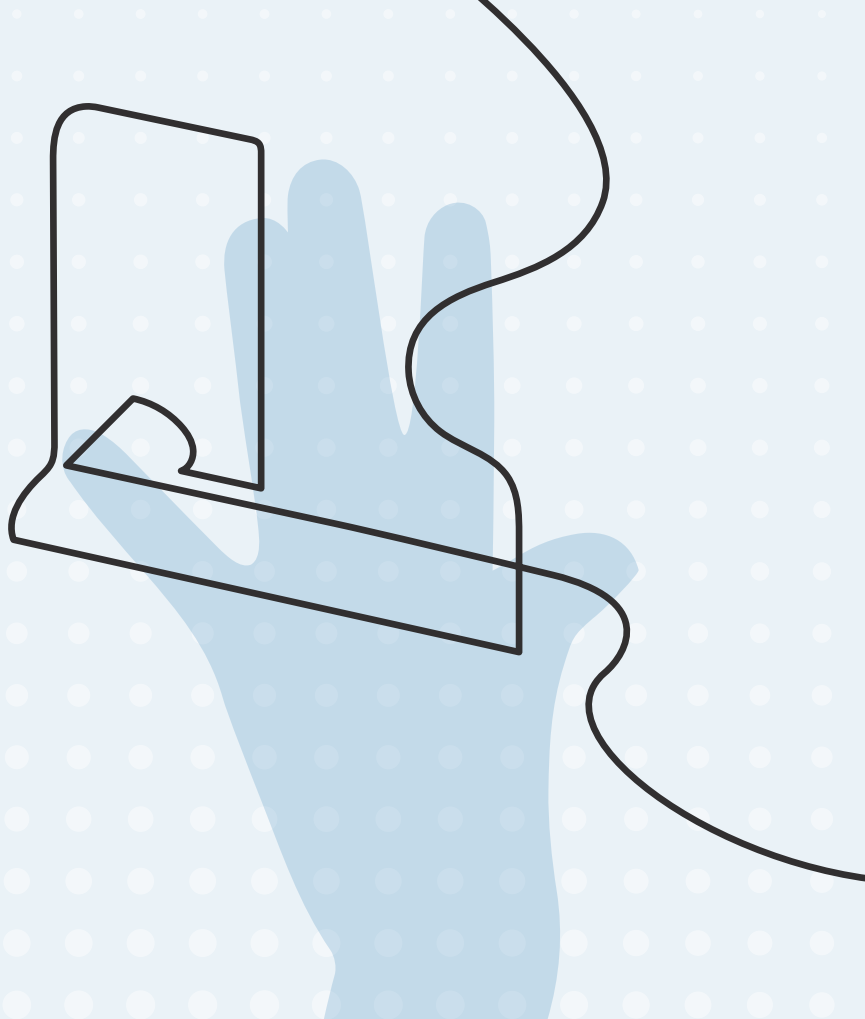




製品の使用条件について

本カタログでは、使用条件の中で、用途、耐荷重・建具の質量制限、対応範囲などの表記により、その製品の許容範囲を示しています。範囲を超えてご使用になりますと、故障や事故発生の原因になることがありますので、ご注意ください。

また、本カタログに掲載されている使用条件は弊社製品単体、もしくは弊社製品同士を組合せた場合の能力範囲です。弊社製品を部品として使用した最終製品の性能を保証するものではありません。「耐荷重」あるいは「質量制限」などの数値は、「代用試験」または「強度計算」あるいは「同等品の実績からの類推」などによるものです。使用状況によって商品能力が大きく変化することもありますので、示してある数値はあくまでも商品選定のための目安とお考えください。

材質、仕上げについて

材質

材質の異なる複数の部品から構成されている製品の場合は、主要部品の材質を示しています。また、材質名は、特に必要と思われる場合以外は、鋼、アルミ合金というように一般的な名称で表記しています。またプラスチックについては略号で表記しています。

JIS略号	樹脂名	JIS略号	樹脂名
ABS	ABS樹脂	PMMA	アクリル樹脂
AES	AES樹脂	POM	ポリアセタール
PA	ポリアミド(ナイロン)	PP	ポリプロピレン
PBT	ポリブチレンテレフタレート	PS	ポリスチレン
PC	ポリカーボネート	PUR	ポリウレタン
PE	ポリエチレン	PVC	ポリ塩化ビニル
PET	ポリエチレンテレフタレート		

仕上げまたは色

仕上げ(または色)の異なる複数の部品から構成されている製品の場合は、主要部品の表面色と処理方法を示しています。

ドア錠、およびレバーハンドル錠について

- 掲載されているドア錠は全て一般住宅屋内用です。屋外や玄関、浴室での使用はできません。
- レバーハンドルにぶら下がったり、寄りかかったり、体を支えたりしないでください。はずみでドアが開いて転倒事故を起こす危険があります。またドア錠にも大きな負荷がかかるので、作動不良や破損、閉じ込め事故の原因にもなります。
- ストライクの穴に指を入れたりしないでください。指を切るなどのけがをするおそれがあります。
- ドア錠の取付けに、電動ドライバーを使わないでください。作動不良や破損、閉じ込め事故の原因になります。
- ドアの重さに対して過剰な性能のドアクローザーを使用するとドア錠の故障の原因になる場合があります。
- ドアに調整丁番を使用している場合は、ドアの調整にともない、ストライクとドア錠のラッチボルト位置がずれることも考慮して施工してください。
- 錠、ストライク、レバーハンドルの取付ねじにゆるみが生じたら、ねじを締め直してください。
- シリンダー錠(TD錠)の鍵が、スムーズに動かなくなったら錠専用の潤滑剤を鍵穴に注入してください。油や市販の合成潤滑剤は、埃を吸着してかえって動きを悪くしますので、使用しないでください。

調整丁番について

- 調整丁番を使用する場合は、あらかじめ調整することを考慮した「ドアと枠の隙間」を設定してください。
- 下用丁番の取付位置は、ドライバーで上下調整操作ができる床までの寸法を必ず確保してください。
- 調整操作は、必ずドアの取付けが終了してから、行ってください。